

【別紙様式2】

運動する喜びを実感しながら、生き生きと運動に取り組む子供の育成

～少人数のよさを生かし、互いに学び合う体づくり運動の学習を通して～

長島町立蔵之元小学校

全校児童(生徒)数	48名(男子 23名 女子 25名)		
全クラス数	7	教職員数	11
運動部活動数		運動部活動参加率	

取組時の課題と目的

1 取組時の課題

体力・運動能力調査より、体育の授業が「楽しい」と答えている子供の割合が男女ともに県平均を5ポイント以上、上回っている一方、「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた子供が、男子は県平均を5ポイント以上上回っている。このことから、体育に対する意識の二極化が課題として挙げられる。

2 取組の目的

- (1) 少人数のよさを生かした授業の指導過程や指導方法、授業外において子供たちを運動に関わらせる手立て等を研究・実践し、子供たちに運動する喜びを味わわせること。
- (2) 学校・家庭・地域が連携し、主体的に運動に取り組む子供を育成すること。

取組の内容

1 体力向上や運動習慣の育成に向けた教師の指導力を向上させる取組

(1) 体づくり運動の単元構成や一単位時間の流れの工夫

体づくり運動領域を1単元3時間で単元を構成したり、本校独自の基本の動きを設定したりすることで、つながりを意識した授業を行えるようにした。

また、様々な基本的な体の動きを身に付けたり、体の動きを高めたりできるようにするために主運動とのつながりを意識した以下の指導過程を基本とした。

【1時間の流れ】

1 準備運動 (Exseed)	5分
2 ふれあいタイム (体の動きを高める運動)	5分
3 めあての確認	2分
4 編成会議 I	
5 試しの運動	28分
6 編成会議 II	
7 整理運動	2分
8 振り返り	3分

(2) 振り返りカードの工夫と活用

記入することで自己内対話をし、「分かった」「できた」と感じられることを目的とした。自分の適性に応じ、運動への多様な関わり方を通して振り返りができるよう、「する」「見る」「支える」「知る」の4つの視点を与え、低学年でも番号で選びやすくした。

(3) 職員研修の実施

地域スポーツ人材の方を講師として招き「運動好きな子供を育てるために必要なこと」について研修を深めた。自分の意のままに体を動かすことができると子

供は達成感を得ることができるため、教師の言葉掛けや場の設定が重要であることを共通理解した。

2 友達・家庭・地域とのつながりを意識した取組

(1) ICTを活用した学び合い

タブレットで動画を撮影するときは、撮影することに時間をとられ、十分な運動量が確保できなくなることがないように、撮影するタイミング指示したり撮影の視点を与えたりするようにした。撮影した動画を見て、気付いたことを話し合ったり教え合ったりするなど、対話的な学びが見られた。

(2) 家庭との連携

体力・運動能力調査を親子で実施したり、家庭教育学級で親子で運動に取り組んだりして、子供たちの運動傾向を保護者に知ってもらい、夏休みに各家庭で親子運動に取り組めるようにした。

●工夫したこと

- ① 運動嫌いの子供をつくらないようにするために、課題や条件、使っている言葉が子供にとって分かりやすい授業になっているか、指導案検討の視点に入れた。
- ② 子供や家庭の運動意欲を喚起するために、専門的な知識や豊かな経験をもつ地域人材を積極的に活用した。陸上競技が専門だったため、持久走大会や陸上記録会に合わせた活用計画を立てた。

取組の成果

- ① 「体づくり運動」における一単位時間の学習の流れが明確になり、全学年で共通実践できた。
- ② 振り返りカードは、授業研究で出た意見等を参考に改良し、授業の中で活用することができた。
- ③ ICT支援や少人数での学び合い、地域スポーツ人材活用を通し、運動のこつがよく分かり、子供たちが楽しそうに運動をするようになってきた。

今後の課題

- ① 「体づくり運動」の領域に限らず、子供たちが運動する喜びを実感できるような手立てや指導を考えていきたい。
- ② 運動が苦手な子供への声掛けだけでなく、得意な子供たちの運動量を確保するためにも、難易度を段階的に示し、チャレンジできる場を設定していきたい。
- ③ 子供たちが行う運動や遊びの幅を広げることができるとような手立てを考えていきたい。

研究の実際

1 授業改善の取組



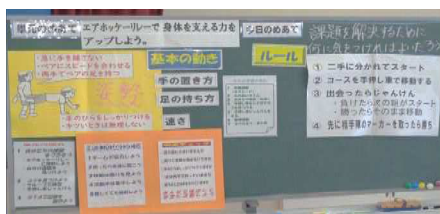
鹿屋体育大学とKKKが考案した「Exceed」による準備運動



体力・運動能力調査の結果を生かした体ほぐし運動



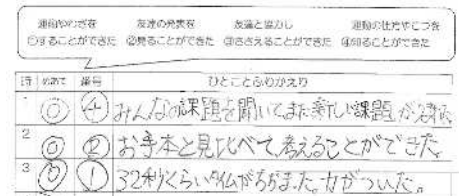
自己の課題を発見するためのICT活用



課題解決に向けた構造的な板書



本校で設定した基本の動きの例



する・見る・支える・知るの観点から振り返るカードの活用

2 特色ある教育活動（教科外体育）



地域の自然に親しむカヌー・カッター教室



全校児童が取り組む蔵小体（学校オリジナル）



学校敷地内にある鍛錬坂ランニング

3 家庭や地域との連携による取組



講話「運動好きな子供を育てるための親の関わり方」
【地域人材活用：家庭教育学級】



親子で実施した体力・運動能力調査の様子



PTAによる伝統芸能「棒踊り」の指導